

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	1103	教育集会所管理事業	会計	01	一般会計
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する。	款	10	教育費
			項	05	社会教育費
			目	08	教育集会所費
担当部課名	教育部 寺田教育集会所			細目	101 教育集会所管理経費
作成者氏名	鈴木 重儀	連絡先	23 - 8728	細々目	01 教育集会所管理経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	地域住民及び団体	教養・文化を高め、併せて住民交流を通して人権教育・人権啓発を推進し部落差別を解消する。
本年度事業内容	1 施設の管理 2 教育・文化活動、人権教育・啓発活動の場と交流の場の提供 3 貸館事業	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先: )	根拠法令・要綱等
市内の類似施設	伊賀市教育集会所条例	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
支出内訳(千円)	事業費(B)	868	968
	委託料	281	281
	その他	587	687
	合計(A+B)	4,468	4,568
財源内訳(千円)	特定財源		
	国県支出金		
	受益者負担		
	その他特財		
一般財源	4,468	4,568	4,568
上記 ~ に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用者延べ人数	人	3,461	3,500	3,500			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
利用者延べ人数	地域住民や各種団体及び関係機関の利用促進を図る。	人	3,461 目標 (3,500)	3,500	3,500
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

交流を通して確かな人権感覚を養う必要があることから、交流事業の一環として位置付けた各種活動の機会と場の提供を積極的に推進する。また、貸館事業として学校等の関係機関や団体にも、積極的に開放している。

評価	必要性	4	人権尊重の精神を育むには、地域住民の交流を通して教養・文化の振興を図り社会教育力を高め確かな人権感覚を養う必要がある。施設の充実を図ると共に地域住民や各種団体及び関係機関の利用の促進を図る。	総合評価  A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		